

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社クロス・サービス	事業所名	看護小規模多機能ホーム ほのかのめぐり
所在地	(〒790-0043) 愛媛県松山市保免西3丁目9-26		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

『出会えてよかった。めぐり逢えた奇跡を大切に
思い出を積み重ね共に歩いていきたい
どこかでまためぐるあなたと』
を理念とし、自分で選べる生活を支援しています。
「通い」を中心にご利用者の容態や希望に応じて、「訪問」「泊まり」といったサービスを組み合わせて、自宅で継続して生活するために必要な支援を行っています。ひとりひとりの思いや生活スタイルを大切にしています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 7 月 31 日	従業者等自己評価 実施人数	(9) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 8 月 28 日	出席人数 (合計)	() 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (4人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者 ()人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ()人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ()人 <input type="checkbox"/> その他 (1人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	地域の方やご利用者ご家族が運営について知りたいことや看護小規模でできる支援内容を運営推進会議の議題にして、お伝えしていく。	運営推進会議にて、支援内容について伝えた。	参加者から具体的な支援内容について質問や意見を頂き、看護小規模多機能でできる支援について意見交換ができた。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	タブレットでの記録やミーティングを活用し、アセスメントや日々の記録を職員間で共有する。	ミーティングにて記録の振り返りをしたり記録に残したり内容について話し合いをした。	十分な記録は残せなかったが、必要な記録について残せるようになってきている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	地域の事業所とも連携がはかれるように、情報発信や運営推進会議への参加の声掛けをおこなっていく。	他事業所に運営推進会議の呼びかけをする。	小規模いちえいと運営推進会議を通して交流が持てた。次年度は多職種連携について取り組んでいきたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域にあるサロンや集まりについて情報収集する。	運営推進会議を通じてサロン等の情報を得る。	情報を得ることはできたが、参加までにはいたらなかった。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	ミーティングで支援経過や事例を共有し、ご利用者の立場に立った支援の具体策を共有していく。	ミーティングにてカンファレンスを行う。	ミーティングでカンファレンスを開催できたが、状況の共有にとどまり、目標の共有までには至らなかった。来年度は、医療的なケアも増えてきているので、介護職と医療職が連携を取って支援を提供できる体制を作っていきたい。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、参加者から具体的な支援内容について質問や意見を頂き、看護小規模多機能でできる支援について意見交換ができた。今後は職員にも周知していきたい ・職員のスキルアップを図るために職員間で話合えたり、意見交換する機会を作りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っているミーティングにて運営推進会議での内容、助言を職員に相談し、運営推進会議ではミーティングの内容を報告し連動するような会議を行う。 ・ミーティングで行っている研修に講義だけでなく、体験したり意見交換したりする場面をつくりスキルアップにつなげる 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な記録は残せなかったが、必要な記録について残せるようになってきている ・医療サービスに対するマネジメントも少しずつ実践ができるようになってきている。介護職から看護師への質問も増えている。今後もより適切な医療・介護サービスを提供していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧なアセスメントができるように、モニタリングの用紙を工夫してチームで共有するようにする（モニタリングかアセスメントか確認する）
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	同じ地域の小規模いちえいと運営推進会議を通して交流が持てた。次年度は多職種連携について取り組んでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が継続して生活できるために、地域（事業所の地域、ご利用者の暮らす地域、ご家族の地域）にある、様々なサービスや相談場所、支援内容を知り、情報提供できるようになる ・引き続き同じ地域の運営推進会議に参加しあって地域の情報を共有する
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	事業所内でもイベント等することができた。地域の行事もご案内いただけただが参加には至らなかった。医療サービスが必要なご利用者の受け入れも少しずつできるようになっている。運営推進会議へのご家族の参加はなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ運営推進会議の議事録をわかりやすくしたものを作成し、写真ののったかわら版と共にお渡しする
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	ミーティングでカンファレンスを開催できたが、状況の共有にとどまり、目標の共有までには至らなかった。来年度は、医療的なケアも増えてきているので、介護職と医療職が連携を取って支援を提供できる体制を作っていく。	看護職のスキルや業務と介護職のスキルと業務について互いに理解するとともに、役割の違いだけでなく、目的が一緒であることを認識できるようなカンファレンスや意見交換をおこなっていく	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている			○		割と見える所にあっても景色になって見えてない事もある。口に出し言ってみる機会があったらよいのでは。 経験があるが、家で最後まで見るのは、なかなか大変な事も多い。皆の力を借りないとな。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している			○		色々職員が居る中で考えを一つにまとめるのは大変でしょう。そこに工夫がいりますね。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			<p>今時の育成は難しいですね。良いと思って意見をしたら・・・ハラとか言われるので。時代が変わって伝える方が考えないといけないんですね。</p>	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>年度始めに各自目標を立て、定期的に振り返りをおこなっている。また、上司との面談をおこない、目標に向けた取り組みの評価、改善等を行っている。入職者については、チェックリスト等を活用している。</p>					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<p>日常やることが多い中、研修もしないといけないんですね。昔は残業も多かったけど現在は時間内と言われているようだ。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>各自、年間研修計画をたてている。目標に沿った研修(法人内、外の研修)へ参加し研修ノートを作成している。また、ミーティングなどで参加した研修の振り返りや共有を行っている。認知症や感染症などの勉強会も実施している。随時研修情報を案内しており、受けた研修を申し出ることできる。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			<p>こういった介護の仕事は、働く時間がばらばらなので人から人へ伝えていくと違ってくるし。 タブレットで同じものを確認するのはいいですね。見る見ないは別として。 ・カンファレンス等皆で集まって話し合うのは大事だと思う。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			○		<p>地域の資源ごみ等 協力してもらい 助かっています。また お願いしたいことや、何か情報があったら言います。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			これから担う若い人たちは自分の時間も取れないとすぐに辞めてしまいますね。今の時代に合ったやり方ではないと人が集まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 朝の申し送りで共有している。必要な事は随時行動予定に記入、FTへ入力しており、出勤時に確認している。不明な点については、口頭にて確認している。訪問の必要なご利用者に対しては、個々に訪問手順書を作成し対応。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			<p>職員の考え方や意識の違いもあり、どうすれば事故を防げるのか考える必要がある。大きな事故にならない様にするのが優先。</p> <p>以前勤めていた職場でも、常にリスクを意識して働いていたが、考えていない職員もいた。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ヒヤリハットや事故が起こった時はその場でカンファレンスを開催し対策を検討している。内容はFTに揭示し共有。また、毎月のミーティングにて事故報告の振り返りを行っている。</p> <p>転倒対策のため、低床対応やセンサー、マットを使用。転倒時対応マニュアル等の整備。行方不明時やAED必要時の対策もしている。</p> <p>安全運転チェックは年1回実施。</p>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			<p>マニュアルも大事ですが避難も実際行ってみないと何に困るか分からない。</p> <p>特に高齢の方が避難すると寝る所やトイレ等色々な課題があると思う。大きな施設の様には色々な物が揃っていないと。公民館だとどうでし</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>BCP作成。備蓄品の期限、在庫数を確認、不足分を購入し対応している。</p> <p>避難訓練の実施、マニュアルの作成、確認。緊急時連絡リスト作成。</p> <p>訓練実施後の改善点等随時更新が必要。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						よう。今度地域で実際に避難して泊りを体験する計画もあります。またどうだったか報告します。	
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			<p>包括では 24 時間の暮らしに着目したアセスメントより、緊急時の対応のできる支援者の連絡先を確認していくことが大事。事業所との視点が異なっている。(一人が担当する利用者が多い)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>家族から情報を得るよう各職員が意識して聞き取りを行っている。送迎時の情報や訪問時の状況等から在宅生活の把握をしているが、24 時間の細かなアセスメントは十分ではない。夜勤スタッフは特に自宅状況を意識しづらい。</p> <p>ご家族体調不良時に通いから臨時泊りサービスを提供するなどの対応が行えている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			デジタルと手書きのものと、使い分けたアセスメントを上手く活用し、ケアに繋がられていると思った。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			実際のプランをみて目標を確認した。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			<p>転倒のリスクを避けるために福祉用具を勧めても、「頼ったらどんどん悪くなる」と家族はご利用者に厳しい。リスクについて説明してもご家族の理解はなかなか得られない事が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
							<p>【具体的な状況・取組内容】 リスクマネジメントの研修を実施している。看護計画にリスクとしてあげられている内容に沿ってどうすればいいかプラン作成している。病状変化にあわせ、主治医と連携を取り、家族を含んだカンファレンスを行っている。 主治医への病状報告、相談した内容を看護師からご家族へ説明している。</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			ご家族は事業所での様子が見えていない。その為、ご利用者の状況の変化を受け止められない。事業所での様子や変化(見えていない部分)を詳細に伝えることが大事なのではないか。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 現場での気づき、日常生活の変化があればケアマネと情報共有し、早期に計画反映できている。また、状態が悪くなれば、ケアプラン、看護計画の変更も行えている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			泊まりのご利用者が少なく、ほとんどの方が自宅で過ごしていることを知った。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] 泊まり利用の多いご利用者に対し、ご家族へ話し合いを重ね、ご自宅で過ごす時間を増やしている。 送迎で家族と話す場面も多く、相談や聞き取りを行っている。 訪問時には室内の様子なども確認している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			ケアや役割分担について意見交換は大切だと思う。意見の出し易さは職域もあると思うが、事業所の雰囲気や職員の個性によるところがあると思う。めぐりでは互いに意見がでる環境である事が分かった。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
<p>〔具体的な状況・取組内容〕 主治医へ介護保険申請時のアセスメント表による情報共有、毎月の報告書・計画書の提出、受診時や病状の変化に応じた状態報告などの情報共有。 福祉用具、リハビリスタッフ、ST 目標や変化について情報共有している。</p>							
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
<p>〔具体的な状況・取組内容〕 医療的なケアについては看護師が行い、介護職へのアドバイスをを行っている。介護職はケア中の気づきを看護師へ報告し確認できている。 ミーティングではそれぞれの視点から話し合いができている。</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容] ご利用者の状態の変化等、共有すべき情報はFTに入力、口頭による伝達、朝夕の申し送りにて共有している。対策が必要な場合は、都度カンファレンスや、ミーティングにて両職種間で意見交換を行っている。</p>					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<p>[具体的な状況・取組内容] 病状の予後予測(進行的に変化してくるであろうご利用者)について早めに情報提供。気を付けて観察する点などを伝えている。特に服薬に関する情報は変更毎に情報共有に努めている。 介護職から看護職への質問に対し解りやすい説明がある。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 新規相談や契約時等にわかりやすい言葉で説明している。具体例も出し、理解してもらいやすいよう工夫している。希望や状況にあわせ、話ができるよう時間を取っている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			突然訪れる介護の不安として、「いつ眠れるのか…」と感じたことがある。介護しながら人としての尊厳を保つことは難しいが、色々な葛藤を持ちながら介護していた事を思い出す。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 居宅サービス計画をもとに説明している。意向の再確認を行いサインしていただいている。不安のあるご利用者には繰り返し説明している。必要時医療ケアについても説明を行っている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			自宅での介護生活でいきなり医療処置を行うことは難しい。医療職と一緒にしてもらえることは安心だと思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 指示書に基づき、ご利用者もしくはご家族等、理解力に合わせて丁寧にわかりやすく説明している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			ご利用者の状態に応じてその都度に意見・意向の確認をすることは関係性を維持するために必要だと思う。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 話を聞く時間をとり、意向の聞き取りを行っている。ご利用者と話す際は表情等見ながら会話することを意識している。ご家族判断の場合、日々の様子をお伝えすることを大事にしている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 自宅での生活が難しいご利用者についてケアマネが中心となり家族とのカンファレンスの時間をとり相談・共有している。職員間でも話し合いを行い条件にあった施設について情報提供するなどの対応を行っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している			○		終末期として受け入れたご利用者が自宅で元気に生活されている話を聞き、ご本人の希望を叶えることがその方の生きがいになるのだという良い事例だと思った。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] 終末期ケアについて過去1例のみ対応。状況に応じて終末期ケアについて丁寧な説明や対応をおこなっていく。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○				<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 夜間帯急変時のフローチャート作成している。救急医療機関当番表をスタッフルームに掲示。緊急時の連絡番号を居宅プラン基本情報に記載している。</p>					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○				<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議にて、参加されている地域の方や市職員の方にご利用者が利用できないような活動がないかお聞きしている。</p>				<p>運営推進会議では活動報告や現状の課題について報告があり、また地域の状況を伝えている。利用者人数や事例についてはサービスを選択する際に参考になっている。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			今の取り組みを継続して取り組んでください	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 議事録は作成しており、いつでも読む事ができる。 重要な内容は、ミーティングや申し送り で情報共有している。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		○			イベントの開催等案内をされており、啓発活動としてはできているのではないか	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] 地域の方へ運営推進会議開催の案内をお伝えしている。 また、事業所で行うイベントへの参加を呼び掛けている。 まもるくんへの参加。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している				○	地域でも訪問看護が不足しているという話は聞かない。また、相談があれば連絡します	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			たん吸引はいつでもできますか。ケアが重なると順番等難しいのではないかと ←介護職でもⅢ号研修の資格を持っている職員がいるので、できる環境もあります	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている			○			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている			○		<p>日々の支援を大切にして、看 取りと意識するのではなく、一 日一日を利用者にとって良 い日となるように支援して ほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		地域のサービスも増えていると感じる。地域で連携が継続していけるように、それぞれの立場でサポートしていく必要があると思う	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている			○		<p>様々な事例や場面を会議で一緒に意見交換している。介護に関係のない方こそ、現状を知ってほしいと思う。今後でもできる範囲で発信することは意義があると思う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○		<p>ご家族から相談を受け、ケア方法のアドバイスをを行うこともある。ご近所さんはご利用者の散歩時にご理解いただいで会話して下さる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えてい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						くなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」	
Ⅲ 結果評価							
① 計画目標の達成							
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない	お一人お一人の事例を紹介くださっている			✓ 「計画目標の達成」について、評価します	
		[具体的な状況・取組内容] レスパイトケアに対する柔軟な対応や服薬に対するアドバイス・サポート、医療的ケアの介入、医療機関との連携によりご家族の介護負担軽減がはかれている。 ミーティングでのサービス振り返り、経過記録、モニタリング作成から次のサービスに活かされている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③	在宅での療養生活の継続に対する安心感						
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない					✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 服薬、吸引、インスリン管理の不十分なご利用者宅へ訪問しアドバイス含め必要な対応を行っている。看護師が24時間相談・対応できる事をプリントで配布周知している。					
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない ⑤ 看取りの希望者はいない					✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みません ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看取りにてご利用開始された方がいらっしゃるが、現在はご自宅でお元気に過ごされている。					

